



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp

企業の防災・減災を支援する「DX ソリューションパッケージ」の提供を開始 ～事故の再発防止対策を後押しする「事故再発防止費用補償特約」を発売～

2022年10月11日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、事故の未然予防や再発防止を実現すべく、防災・減災に資するIoTセンサー等のソリューションと保険商品を組み合わせた「DX ソリューションパッケージ」の提供を2022年10月から開始します。

その第一弾として、株式会社アモス（以下「アモス」）が提供するダクト内遠隔監視システム「T-SENSOR」を導入する企業に対して、企業向け火災保険「企業財産包括保険」におけるリスク低減効果に応じた保険料割引を適用するとともに、事故の再発防止に資するソリューションの導入等に係る費用を補償する「事故再発防止費用補償特約」の提供を開始します。

1. 背景

設備の老朽化による事故発生リスクの高まり等により、企業における大規模事故は年々増加しており、事故の未然予防や再発防止の対策は企業にとって重要な課題となっています。

当社はこれまで、防災・減災に資するサービスを提供してきましたが、より一層お客さまの防災・減災対策を支援するため、DX ソリューションパッケージの提供を開始しました。

2. DX ソリューションパッケージの概要

DX ソリューションパッケージとは、防災・減災に資するソリューションと補償をセットでお客さまへ提供し、お客さまとともに事故の未然予防や早期回復を目指していく取組みです。

DX ソリューションパッケージの第一弾として、①防災・減災に資するソリューションの紹介（ダクト内遠隔監視システム「T-SENSOR」）、②ソリューションの導入によるリスク低減効果に応じた保険料の割引、③事故発生時にソリューションの導入費用等を補償する特約（後記（2）③）をセットで展開します。これにより、事故の未然予防から再発防止まで新たな付加価値の提供を実現します。

（1）提供の背景

近年、火災発生件数は減少傾向にある一方、飲食店で発生した火災件数は増加傾向にあります。とりわけ、「ダクト内から出火」した場合は、初期消火に失敗し、火災に発展する事例が多く、ダクト内部の確認の煩雑さや、点検・清掃にかかるコスト負担等から、適切なダクト管理がなされていないことが原因とされています。

そこで、通常より低コストかつ効率的にダクト管理が可能な「T-SENSOR」を、DX ソリューションパッケージの第一弾として採用することとしました。

企業向け火災保険の大規模事故の年度別件数推移
（2015年度を1とした比例値）



（注1）保険金支払額（備金の場合は備金額）が5億円以上の事案（自然災害起因の事故を除く）

（注2）一般社団法人日本損害保険協会「協会からのお知らせ」の損害保険大手9社統計データより抜粋

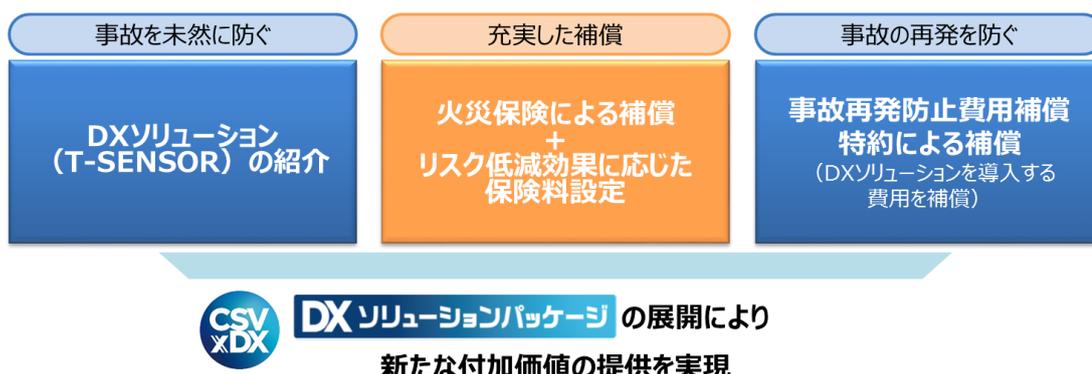


図 7-2-7 初期消火失敗理由

東京消防庁 「令和2年版 火災の実態 出火用途別火災状況 飲食店」より抜粋

(2) DX ソリューションパッケージ（第一弾）の概要

① 全体イメージ



② 保険料について

防災・減災に資するソリューションの導入により、事故リスクが低減した場合には、その効果に応じた保険料割引を適用します。

③ 事故再発防止費用補償特約

事故発生後、再発防止に有効な対策の導入を支援するため、お客さまが負担した再発防止に資する機器（IoT センサー等）の取得費用等を補償します。

対象商品	企業財産包括保険
募集開始日	2022年10月14日
対象となる費用	同一敷地内において原因を同一とする事故の発生を防止すること、または損害を軽減することを目的として企業が支出した機器の設置等の費用のうち、当社が必要かつ有益と認める費用をお支払いします。
お支払いする保険金の額	1回の事故につき、損害保険金に20%を乗じた額か2,000万円のいずれか低い額を限度とし、以下金額をお支払いします。（保険期間（年度）通算で2,000万円が限度） ①機器の設置費用等を負担した場合 ・（事故再発防止費用の実費－除外する金額）×50% ②機器の設置に伴う利用契約等の費用を負担した場合 ・利用契約等における料金のうち契約期間1年に相当する金額－除外する金額 ^{※1} ^{※1} 他の保険金と重複する費用等
特約保険料例	年間保険料は10万円～100万円程度となります。 なお、保険料は保険金額、業種等により異なります。

3. 今後の展開

当社は、ソリューション提供事業者と幅広く提携を進め、「DX ソリューションパッケージ」のラインアップを拡充・展開することで、お客さまとともに、事故の未然予防や再発防止に取り組めます。

当社は、CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）^{※2}を基軸とする商品・サービスの開発を進め、誰もが安心・安全に暮らせる地域・社会づくりに貢献していきます。

^{※2} CSV・・・Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX・・・Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

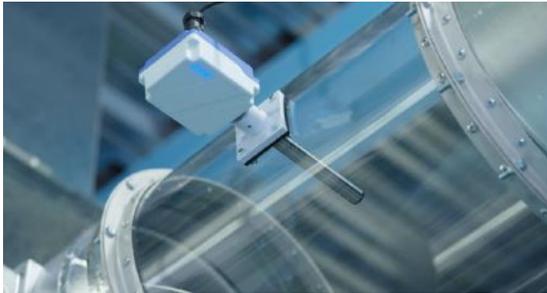
以上

(ご参考) T-SENSOR について

T-SENSOR はアモスが開発・提供するダクト内の汚れや埃の堆積状態の画像撮影、内部温度の測定が可能な据え置き型の IoT センサーです。T-SENSOR をダクト内部に取り付け、遠隔で監視を行うことで、ダクト火災^{※3}の未然予防やダクトの点検・清掃の効率化が可能になります。

※3 工場内や厨房等の排気設備として設置されたダクト（建物内の空調、換気、排煙の目的で設置された気体を運ぶ管）内に堆積した油や埃に、吸気口からの直火あるいは輻射熱が引火して火災が発生すること

<設置イメージ（一般ダクト用 T-SENSOR）>



<センサー・カメラ部分>



「一般ダクト用 T-SENSOR・T シリーズ」と、「飲食店厨房ダクト用 T-SENSOR・K シリーズ（2023 年 4 月以降設置工事が可能）」の 2 種類をラインアップしており、専用のアプリをダウンロードすることで遠隔かつリアルタイムにダクト内の画像や温度取得が可能になります。

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DX を通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

